

オンライン開催

アートと 介護・福祉の 勉強会

参加
無料

美術館やホールを飛び出し、地域や介護・福祉施設で実施される芸術実践が注目されています。住民・利用者の生活の質の向上に寄与する芸術の特質は、世界保健機関などでも大きく取り上げられるようになってきました。

この勉強会では、こうした観点から取り組まれているアートプロジェクトの実践事例を学び、これからの芸術・福祉連携の可能性を参加者の皆さんと考えたいと思います。

▶▶ 人と地域と制度をつなぐ ◀◀ ソーシャルなアートプロジェクトを学ぶ

青木 彬 氏
(一般社団法人藝と)



東京都立大学インダストリアルアートコース卒業。アートを「よりよく生きるための術」と捉え、様々なアートプロジェクトを企画している。現在は福祉とアートの接点を模索するためセツルメント運動の調査に取り組むほか、社会福祉士の資格取得を目指して勉強中。

吉田 武司 氏
(特定非営利活動法人音まち計画／東京藝術大学)



京都造形芸術大学芸術表現・アートプロデュース学科卒業。埼玉県〈北本ビタミン〉(2010～2012)や東京都〈三宅島大学〉(2013)などのアートプロジェクトの企画運営に携わる。東京藝術大学特任助教。「アートアクセスあだち音まち千住の縁」ディレクター。

コーディネーター 堀 崇樹
(足立区社会福祉協議会／日本介護福祉学会／日本地域福祉学会／日本ソーシャル・イノベーション学会)

2024年2月16日(金) 19:00～20:30

申込方法 Google formからお申し込みください。
<https://forms.gle/V8sngUDmL9SZctet7>

申込締切
2024年2月9日(金)

主催 地域福祉におけるソーシャルネットワーク(SNCD)
企画 吉田武司・青木彬・堀崇樹



social network
for community development

